

【議事要旨】令和7年度第2回北陸圏広域地方計画有識者懇談会

日時：令和7年7月14日(月)15:00～

場所：石川県文教会館 401・402会議室

～主な意見（要約）～

（1）ほくりくダイアログ2025について

- ・地域の将来を考えて自ら行動する姿勢を持った人々をサポートすることが重要である。
- ・若者からの意見は計画に反映させるだけでなく、効果の検証やそれを踏まえたブラッシュアップを重ねていけるとよい。
- ・取組事例などを情報発信・共有するプラットフォームが重要である。
- ・非常に良い取組なので継続することが重要で、参加者同士の繋がりでの人的ネットワークの拡大が期待できる。

（2）第2回北陸圏・中部圏の国土形成を考える会について

- ・昇龍道プロジェクトは、各地域で取り組むコンテンツの充実が必要である。
- ・防災面について、北陸圏と中部圏が相互に支援する体制を、日頃の防災教育を通じて構築することが重要である。

（3）新たな北陸圏広域地方計画【中間とりまとめ（案）】について

- ・能登半島地震では医療・福祉の従事者も被災者となったため、被災地での支援活動を確保するために広域連携などが必要である。
- ・震災からの創造的復興には、能登半島をプラットフォームとした人材育成が重要である。
- ・北陸圏では災害での経験を踏まえ、これらのノウハウを活かした雇用創出など、防災面に関する産業に繋げていけるのではないかな。
- ・震災からの創造的復興を支える人・場・地域を形成し、産業や広域観光を振興することが重要である。
- ・ほくりくダイアログ2025で、若者からどのような提案があったのか、中間とりまとめ（案）に記載すると、プロジェクトがどのように実行されるかイメージしやすいのではないかな。
- ・起業や事業継承においては、メンタリング、資本提供、人材提供が欠かせない要素である。
- ・北陸圏や中部圏はエネルギー資源が豊富な地域であり、地域エネルギーの開発にむけてマネジメントを行っていくことが重要である。
- ・サーキュラーエコノミーの推進は産業とも密接に関わっているため、産業界が連携して推進していくことが重要である。
- ・収益性の高い農業を目指すため、水田の集約化や高付加価値な商品の生産への転換が重要である。
- ・ユーザーインの考え方にに基づき、新しいデザインや意見を吸収して新商品に展開していくことが重要である。
- ・産業構造の転換に関する事例として、金属リサイクルに取り組んでいる。
- ・他圏域との連携のためには、ミッシングリンク解消などのインフラ整備を推進し、交流人口の拡大やサプライチェーン支援を促進する必要がある。

以 上